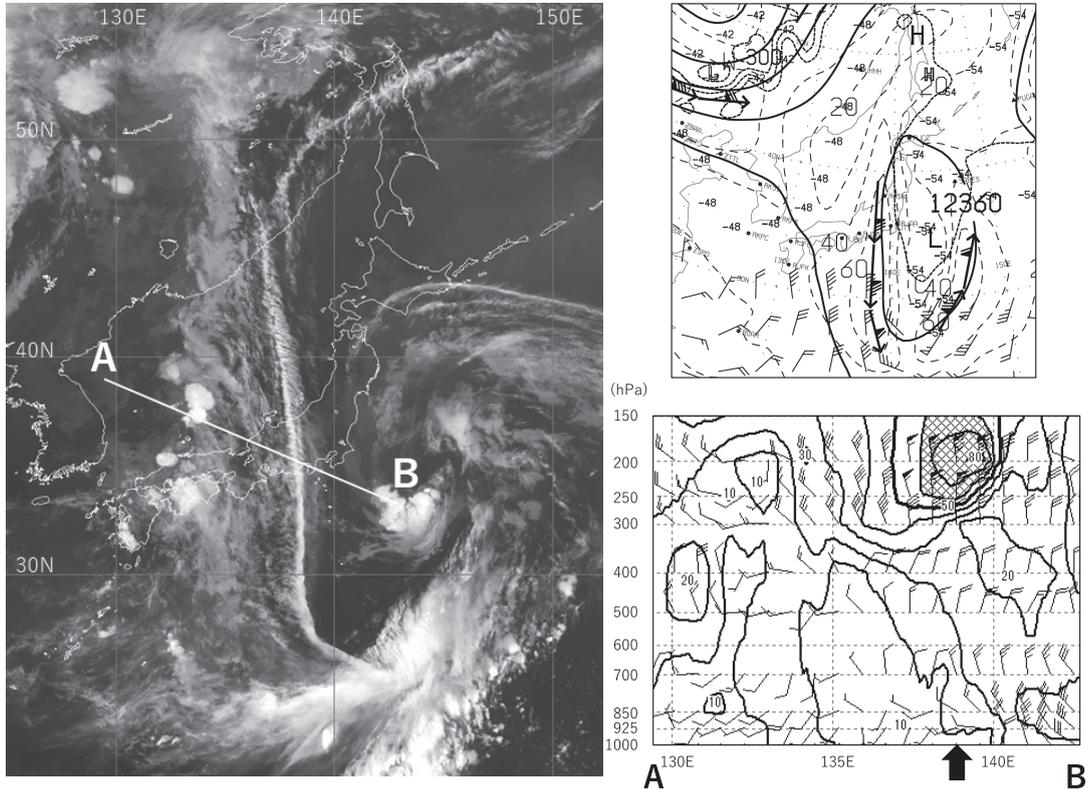




## 今月のひまわり画像—2022年7月

### 日本列島を東西に分断する Ci ストリーク



第1図 2022年7月8日21時（日本時間）の日本付近における赤外画像。右上は同時刻の200hPa 高層天気図（実線は等高度線，破線は等風速線，矢印は解析された強風軸）。右下は同時刻の LFM 初期値による左図の A-B に沿った断面図（実線は等風速線（10kt（1kt≒0.51m/s）毎，ハッチは60kt 以上），矢印は Ci ストリークの位置を示す）。

2022年7月7日から8日にかけて，日本列島の南北の長さと同程度のスケールを持った大規模な Ci ストリークが出現した（第1図左）。Ci ストリークとはジェット気流や上層の流れに沿って見られる細長く筋状の巻雲である（池田・江上 2002）。Ci ストリークは東西走向をもつことが多く，本事例のように南北の走向になることは非常に珍しい。日本付近では，7日23時（日本時間）頃から南北走向の Ci ストリークが東に移動しながら顕在化し，9日6時頃に不明瞭化した。

期間中，日本の東には上層寒冷低気圧があり，ゆっくり北上していた。この動きの遅い上層寒冷低気圧及び西側の上層リッジによって Ci ストリークは南北走

向に形成されたと考えられる。

Ci ストリークの雲頂高度は  $T_{BB}$ （等価黒体温度）から200hPa 前後と推定される。第1図右上の200hPa 高層天気図では，概ね対応が良い強風軸が解析されており，同図右下の鉛直断面図から，ジェット気流の最大風速（ジェット軸）付近に出現していたものとみられる。

#### 参考文献

池田博文，江上 公，2002：衛星画像で観測される雲パターンと水蒸気パターン．気象衛星画像の解析と利用—航空気象編—，気象衛星センター，9-11。

（気象庁大気海洋部予報課 小松恭子）